

友好交流ニュースレター

編集・発行 / 厚木市友好交流委員会 (事務局 厚木市秘書課友好交流係 046-225-2050)

2/10~12 厚木市・網走市友好都市締結5周年記念 あばしりオホーツク 流氷まつり訪問団

網走市との友好都市締結5周年を記念して、『あばしりオホーツク流氷まつり』の開催に併せ、公募による市民を含む15人の訪問団(団長:宮台 功副市長)が網走市を訪問しました。

一行は水谷 洋一網走市長を表敬訪問し、記念品の交換を行いました。流氷まつりの開会式では厚木市のマスコットキャラクター「あゆコロちゃん」のエコバッグ等を配布し、厚木市をPRしました。網走の大自然と市民の方々との出会いを通し、友好の絆をさらに深めることが出来ました。

(写真 / 上: 市長表敬訪問、左下: 流氷まつり開会式、右下: 厚木市からの記念品を贈呈)



2/15~17 厚木市・横手市友好都市締結25周年記念 横手市雪まつり訪問団

横手の冬の風物詩「横手市雪まつり」の開催に併せ、公募による市民を含む13人の訪問団(団長:佐藤 信雄友好交流委員会委員長)が横手市を訪問しました。一行は五十嵐 忠悦横手市長を表敬訪問した後、かまくら作りを体験。夜には『厚木かまくら』の中で、横手市民や観光客の方々に厚木市の特産物であるイチゴや鮎菓子、シロコロせんべい、地酒を振舞いながら厚木市をPRしました。

今後とも、友好都市の魅力を多くの方々に知っていただき、また厚木市の魅力を市民の方々と一緒に紹介する機会をつかっていきたいと思ひます。

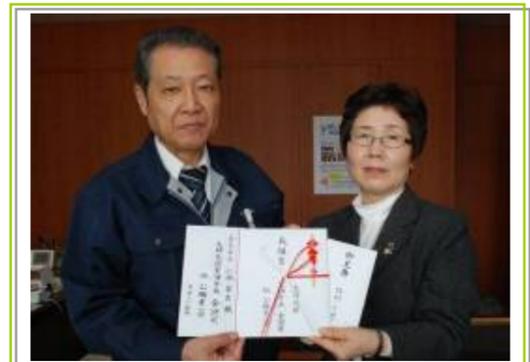


(写真 / 上: 市長表敬訪問、左下: 梵天コンクール 厚木市長賞を受賞した横手市職員労働組合の皆さんと一緒に、右下: 厚木かまくら)

gunpo 軍浦市から 東日本大震災義援金

東日本大震災を受けて、4月11日、軍浦市から金 潤周軍浦市長及び公職者の方々の誠意による義援金500,897円が寄贈されました。日本赤十字社を通じて被災者の方々に、義援金と温かい気持ちが届けられます。

(写真 / 市内在住の軍浦市国際協力官 松村千恵様から宮台功副市長へ義援金とメッセージが手渡されました。)



オーストラリア大学生 ホームステイ 11/26~29

昨年11月25日、オーストラリア国立ニューカッスル大学の学生が、小林 常良市長を表敬訪問しました。同大学は湘北短期大学の姉妹校として毎年、相互交流を行っており、今年は16人の学生が来日。学生たちは約2週間にわたり日本文化体験や語学研修、日本人学生との交流などを行い、26~29日には市内一般家庭でホームステイを体験しました。日本語を学んでいる学生や将来は日本で働きたいという学生もいて、今回の貴重な体験を思い出に帰国しました。今後、厚木市との友好交流の橋渡し役になってくれることを期待しています。



市長表敬訪問にて



七沢自然ふれあいセンターにて

軍浦市青少年訪問団 ホームステイ 1/6~10

1月6日~10日、韓国軍浦市から高校生6人を含む青少年訪問団が厚木市を訪問しました。昨年7月、軍浦市で開催された国際青少年フェスティバルに厚木市の高校生が参加した際、厚木市の高校生のホームステイを受入れてくれた高校生が、今度は厚木市を訪れました。高校生たちは再会を喜び、ホストファミリーとの楽しいひと時を過ごしました。9日には全員そろって七沢自然ふれあいセンターに宿泊。言葉の壁を越えて和気あいあいと過ごす姿は、とても微笑ましいものでした。ホームステイを快く引き受け、御協力いただいた御家族の皆様にご心から感謝いたします。

厚木市・横手市

友好都市締結25周年記念写真展 2/11~19

厚木市と横手市の友好都市締結25周年を記念して、両市が写真展を同時開催しました。両市の魅力を紹介する写真を公募し、厚木市では横手市の写真と併せて小若梵天やミニかまくらを展示。横手市では厚木市の写真と名産料理や花火玉の模型を展示し、両市の魅力を多くの方々に知っていただくことが出来ました。15日には、横手市から送られた雪で厚木小学校の児童がミニかまくらを作成。子どもたちは寒さを忘れ、夢中でかまくらを作り上げました。今後とも多くの方々の手によって両市の絆がはぐくまれるよう、事業を進めていきます。本事業に御協力いただきました皆様にご心から感謝いたします。



(写真/上:横手市の写真展会場、下:ミニかまくら作り)